



飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

RI会長 シェカール・メータ

2570地区ガバナー 水村雅啓
第3グループガバナー補佐 和泉由起夫

もっと夢を もっと奉仕を More dreams More service

第3012例会 2022. 5. 11

—— 青少年奉仕月間 ——

天候曇 (NO. 58-45)

会長 高橋 弘 幹事 大野 康

例会日 水曜日 (12:30~13:30) 当番 鈴木(勝)君、坂本(厚)君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 高橋会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト唱和 神田(敬)職業奉仕委員長
- ・卓話 大久保智美様

【会長報告】

本日、第12回理事会を開催。吉田行男会員にご尽力頂いた飯能RCのゆるキャラ「笑顔の紳士君(へへへのしんし)」をクラブの象徴として大切にし、HPにも掲載したいと思っております。「飯能RC図書室」は個人情報保護のため現在、暫定的にパスワードを設けていますが、一部削除を行った上で一般に公開出来るか検討中。毎年1万5、6千人の参加者があった「飯能新緑ツーデーマーチ」は5千人限定で3年振りに開催。当RCは「ロータリー奉仕デー」の一環として参加します。日高RCと共同で受付とミネラルウォーターの配布を行い、8千本のうち6千800本をRCから寄贈します(16日、飯能市への寄贈式)。6月、今年度最終の会長幹事会は当RCが和泉ガバナー補佐と担当します。

新型コロナ対策の海外渡航レベルは3から2に引き下げられました。油断は禁物ですが、活発な経済活動が再開出来るよう努めたいと思っております。

【幹事報告】

第12回理事会で前回議事録を確認。ゆるキャラの資料は来週配付します。各委員長は5月中旬に会計処理をお願いします。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢RC

- ・6/14(火) 移動例会
- ・6/21(火) 定款の規定により休会
- ・6/28(火) 最終夜間例会

【委員会報告】

◎ロータリー情報委員会 島田君
6/1 炉辺会談。入会3年未満の方、クラブ奉仕

関係の方(本年度・次年度)、中身の濃い会談を目指しておりますので全員のご出席をお願いします。来週までに欠席をご提出下さい。

◎環境保全委員会 鈴木(康)君

「飯能新緑ツーデーマーチ」5/29(日)小雨決行。市役所中央玄関前10時集合、10時半出発。精明コース約5kmに参加します。本日申し込みです。

◎次年度幹事 市川君

本日より3日間、次年度座談会。計画書は5/18提出締切。第1回理事会への出席をお願いします。

◎米山功労者表彰 市川昭会員

◎次年度会長 矢島(高)君

3/12(ウエスタ川越)地区ロータリー財団セミナー。島田次年度財団委員長と参加。4/2(ウエスタ川越)PETS。4/9財団勉強会(オンライン)。4/26次年度役員委員長顔合わせ。23名の参加有難うございました。5/7地区研修・協議会(zoom)11名参加。勉強になった事を活かして頂きますようよろしくお願い申し上げます。



【出席報告】無届欠席2 大野(正)出席向上委員長

会員数		当日		前々回修正出席率
全数	対象	出席数	出席率	
70名	4名	59名	84.29%	祝日週の為例会取消修正はありません

【M U】

4/21(第3G)高橋君

【結婚・誕生日祝】

小谷野(大)親睦活動委員

◎入会記念日おめでとう

吉田(健)君、吉田(武)君

◎結婚記念日おめでとう

福島君、加藤君、町田君、五十嵐君、大崎君、森田君

◎会員誕生日おめでとう

吉田(行)君、鈴木(勝)君

◎夫人誕生日おめでとう

藤原夫人、土屋夫人、沢辺夫人、吉田(行)夫人

【S A A 報告】

◎ニコニコBOX

・大久保智美様、今日の卓話よろしくお願ひします。細田(伴)君、矢島(巖)君、加藤君

・入会記念日お祝ひ有難うございます。

吉田(健)君、杉田君

・結婚誕生日お祝ひ有難うございます。

杉田君、大崎君、加藤君、五十嵐君、本間君、町田君

・妻の誕生日お祝ひ有難うございます。

土屋君、吉田(行)君

・誕生日お祝ひ有難うございます。

吉田(行)君、本間君

・欠席時にお祝ひ有難うございました。佐々木君

・早退します。吉島君

本日計 56,000 円、累計額 763,000 円。

◎ 18 日例会当番は塩川、佐々木会員です。

【卓 話】

講師紹介

前島国際奉仕委員長

「飯能日高テレビ」でお馴染みです。1967年生まれ。東海大学菅生高等学校在学中より司会業を始め、川崎のプロダクションに所属。各種イベント等で司会を務め、その後、代官山のプロダクションに移籍。資生堂キャンペーンDJ、幕張メッセ等のナレーター、文化放送アシスタントをされた後、22歳でフリーランスに。現在、飯能、青梅のCATVの番組キャスター。NHK「いっと6けん」埼玉県レポーター。舞台、パーティー、皇太子殿下の植樹祭、心臓外科・脳外科のカンファレンス、東京都や埼玉県でのイベント等で司会をされています。

キャスターからみた飯能

大久保 智美(さとみ) 様

2012年9月に卓話をさせて頂いた時、錚々たる顔ぶれの前で話をすると緊張感から、「お引き受けするのはもうやめよう」と思ったものの、記憶力の低下、学習能力の無さ、「ミスター飯能まつり」の前島さんが委員長という事で講師を買って出る事になりました。前回、アナウンサーとキャスターの違いについて、前者は物事をそのまま間違いなく伝える、後者は自分の信念や意見を交えながら伝える、とお話して、私はアナウンサーにはなれたかなと思うがキャスターには未だ慣れていないと申し上げました。10年経ち全く同じ意見のまま「キャスターからみた飯能」の題目でお話させて頂きます。仕事柄「確実性」が重要だと思っています。

飯能で番組を持たせて頂いて26、7年。私の地元青梅で「飯能に魂を売った女」と言われながら、いつかは飯能に住みたいと思っています。「飯能は都会だ」と青梅の人は皆言いますが、電車だと拝島経由で1時間超。近くても遠く感じるまち飯能です。

イーロン・マスクさんが一昨日、「日本はいずれ存在しなくなるだろう」とツイートしました。日本の総人口が前年度より64万人減少したとの記事に対してのものです。昨年度、飯能市の出生数は435人(死亡者数913人)。日高市264人(588人)。倍近くの方が亡くなっています。入間市761人(1438人)。青梅市631人(1730人、約3倍)。人口減少の要因についていろいろ言われる中、私達の年代の主婦層が言うのは「子どもって18歳からお金がかかるのよ」。12年前に夫を亡くし、頂いていた遺族年金も下の息子が18になり3月で終



わりました。共稼ぎのご夫婦でも、入学金の都合はつけられても授業料や交通費、小遣い等の捻出までは難しく、奨学金を借りるお子さんが多い。返済は貸与終了月の翌月から数えて7か月目から開始されます。結婚式の司会でも「お子さんは何人位欲しいですか」という質問が今はなかなか出来ません。「自分も妻も奨学金を借りていて、毎月6万8千円を返済しなければならず、子どもは…」という方が多かったです。初任給は大卒で約21万2千円、高卒で16万7400円。手取り平均16~18万円の中から返済していくのはお子さん達にとっても負担です。

この奨学金の返還支援を行うところが企業や自治体の中で少しずつ増えています。看護系、介護系、個人の歯科医院、建設業、等。条件付きで一部もしくは全額肩代わりしてくれます。熊谷市では市内に就業したら利子額最大3万円までを10年間支払ってくれます。新潟県Uターン促進奨学金返還支援は10年間、助成金が交付されます。地方からの学生も多い駿河台大学と市がタイアップして「飯能に残ってくれたら奨学金の利子額を払う」「半額免除する」等、付加価値を付けていく事がこれからの時代、大切なのではないのでしょうか。

女優の高木美保さんは現在、栃木県で農業を営んでいらっしゃるのですが、飯能で講演された時、飯能の印象を「都会田舎」と表現されたのです。池袋にもすぐ行ける。必要なものも揃う。十分都会よね。でも、人間が必要とする、日本人がふるさとして思えるような田舎がたくさん残っている。便利なんだけれども田舎を感じられる。

リモートワークが増え、都内に住む必要がなくなった。人間らしい生活環境の中で暮らそうかと思っている方にとって飯能はとても魅力的なのではないかと思えます。そういった意味でも付加価値が大切になってくるのではと思っています。

2020年に他界された心理学者の井上勝也先生に「生きがい」について伺った事があります。「生きがい」を幸福感、やりがい、魂が喜ぶものと思っている方が多いけれど、幸福感ではなく、むしろ緊張感なのではないか。満足感ではなくハングリーなもの。朝起きた時に「これをやらなきゃいけない。あれもやらなきゃいけない」。そういった緊張感が「生きがい」になっている人が日本人には多いというお話をされていました。

2020年12月に対談させて頂いた埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科教授で精神科医の大西秀樹先生も、「生きがいを失う」と言うのが、失う事で元気が無くなってきてしまうのは、その方にとっての「幸せな生きがい」。それに対し、緊張感なりハングリーさを必要とする「生きがい」をもっている方は「失った」とは思わず次の「生きがい」を見つけていく事が出来る。「胃の調子が悪い。でもどこを調べてもどこも悪くない」という方が最終的に来るのが精神科で、うつ病と診断される事が多い。自分では大丈夫と信じていても精神的に弱っている部分があるというのが現代人なのだそうです。

この「生きがい」というものを皆様は若い人達に与えて頂ける立場の方々だと思っています。飯能のまちに付加価値を付けて、なお一層元気なまちにして頂きたい。飯能から祭囃子の音を絶やしてはいけません。私から見て飯能はタテにもヨコにも繋がりをもっている地域で、それが何よりの強みではないかと思えます。

私達も「飯能日高テレビ」として微力ながら皆様にさまざまな良いニュースも報じていけたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。